

(1) 「みんなのまち」への市民自治づくり

市民活動支援事業

NEW!

《担当：地域振興課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	150	0	0	80	70

市民の市政への参画を促進し、その知識や経験を活用することにより、市民の満足度を高めるとともに、市民活動の自主性の向上を図るため、市民活動団体が地域課題解決のため自ら提案・実施する事業に対して5万円を上限に助成金を交付しました。

【事業の実施状況】

当初2件（予算額10万円）の募集枠に対し3件の応募があり、審査の結果いずれも適当であると認めたため、対象事業として決定し、事業に取り組んでいただきました（5万円を補正により増額）。子育て支援、子どもの健全育成、環境保全の分野で事業を実施し、いずれも市民ならではの発想と工夫を凝らした事業内容で、市民のニーズや興味を捉え、好評を得るものとなりました。

＜実施事業内容＞

- ①あひる座招致事業（親と子の本の広場 あいいく館）【助成額50,000円】
 - ・人形製作ワークショップ（3回／76人参加）
 - ・ふぁおぼさんのミニミニシアター（人形劇の上演ほか／約70人参加）
- ②大竹ゴミ減量グループ事業（大竹ゴミ減量グループ）【助成額50,000円】
 - ・ゴミ減量実践講座（市のゴミの現状について学習・段ボールコンポストの紹介など計4回／58人参加）
 - ・ゴミ減量について学ぶ研修旅行（福山市・府中市／19人参加）
 - ・エコ・クッキングで省エネ、段ボールコンポスト実践結果発表会（13人参加）
- ③児童に対する読み聞かせ事業（えほんの国）【助成額50,000円】
 - ・ブラックライトシアター（小方小学校／約80人参加）
 - ・ブラックライトシアター（ギャラリーおおたけ／約100人参加）
 - ・影絵（小方小学校／約40人参加）
 - ・おはなし会事業（小方小学校の各クラスで実施）

本会議場会議システム整備事業

NEW!

《担当：議会事務局》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
19年度	5,261	0	0	0	5,261

※上記事業費には事務費も含まれています。

本会議場の放送設備は機器の老朽化により、録音の中断や雑音が生じていたため、放送録音設備の総体的な改修を行いました。

【事業の実施状況】

放送録音設備の改修を行った結果、傍聴者からの論議が聞き取りにくいとの苦情も解消され、スイッチ切り替え不良による録音記録の欠如もなく、安定した録音記録の保存が可能となりました。開かれた議会を目指し、積極的な議会傍聴を呼びかけます。

〔改修内容〕 交互カセットデッキほか録音設備諸備品

自主防災組織の育成指導事業

《担当：総務課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	1,100	0	0	1,100	0
18年度	93	0	0	0	93
19年度	1,130	0	0	1,000	130

※平成17・19年度において資機材の整備にかかる経費等を助成するにあたり、「宝くじ消防事業交付金」(上記の「その他」)を特定財源として活用しました。

防災意識の高揚及び地域の防災力の向上を目的として、市内の新設・既設の自主防災組織に対して、活動のための資金を交付し、防災活動に必要不可欠な資機材の整備を行うもので、平成19年度においては、14組織に対して助成金の交付を行いました。

●自主防災組織の設立状況

	地 区	設立数
17年度	安条, 松ヶ原, 御園台	3
18年度	防鹿, 後原, 大人原・大迫, 元町4丁目, 新町3丁目, 白石1丁目, 玖波1丁目, 港町1丁目	8
19年度	黒川自治会連合会, 比作, 元町2丁目, 玖波7丁目, 玖波4丁目	5

※自主防災組織は、平成20年度は西栄1丁目, 穂仁原, 立戸連合, 新町2丁目, 谷尻の5組織が新たに設立され近年全市的な広がりを見せています。(平成20年8月1日現在22組織(35自治会))

【自主防災組織の活動及び資機材】

活動の種類	防災資機材など
情報収集(災害時)	ラジオ, トランシーバー, メガホン, 携帯無線機, サイレン, 非常用放送設備など
消火活動	可搬式動力ポンプ, 簡易防火水槽, ホース, 格納器具一式, 消火器, バケツ, ヘルメット, 消火活動服など
水防活動	スコップ, つるはし, ロープ, 土のう, 防水シート, 土のう用砂, 一輪車, 救命胴衣など
救出・救護活動	エンジンカッター, テント, チェーンブロック, 救急セット, はしご, 担架, 防塵マスク, 保護めがね, のこぎり, 発電機, 保護手袋, 救助工具, リヤカーなど
給食・給水活動	給水タンク, ろ過装置, 釜, 鍋, 炊出しセット, ガスボンベ, 炊飯装置など
避難誘導活動	標識板, 小型ライト, 標旗ほか
防災教育活動	放送機器, ビデオ装置, 訓練用消火器, ビデオ教材, 防災パンフレット, 地図ほか
その他(防災倉庫整備, 地区内見回りなど)	資機材などの収納倉庫, 簡易トイレほか

コミュニティづくり推進協議会活動助成事業

《担当：市民課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	1,200	0	0	0	1,200
18年度	1,800	0	0	0	1,800
19年度	2,600	0	0	2,600	0

地域の連帯を深めるための事業を行い、住みよい地域社会の形成に取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行います。19年度は、宝くじコミュニティ事業助成金を活用した事業に取り組みました。

【事業の実施状況】

○宝くじコミュニティ助成事業 補助額 2,400千円

宝くじコミュニティ助成事業を活用し、大竹市コミュニティづくり推進協議会が晴海臨海公園（仮称）に防球ネットを設置しました。

防球ネット 80台

移動式バックネット 1台

○大竹市コミュニティづくり推進協議会活動補助金 補助額 200千円

市内各種団体の連絡調整を図るとともに、住みよい地域社会の形成に取り組んでいる大竹市コミュニティづくり推進協議会の活動に対し、補助を行いました。

コミュニティサロン活性化事業

《担当：市民課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
18年度	4,500	0	0	0	4,500
19年度	4,500	0	0	0	4,500

市民の交流の場であるコミュニティサロンを活用し、シルバー人材センターが主体となって、地域づくりの推進に取り組みました。

【事業の実施状況】

○高齢者活用子育て支援

コミュニティサロン3館を活用し、春・夏・冬の長期休暇中において「チビッコふれあいサロン」を開設。シルバー人材センターの会員が各種の得意分野を活かしながら、宿題の手伝い、しつけ、生活習慣指導、昔の遊び、ふるさとの歴史等の学習指導講座等を行いました。

【対象】 小学生

【利用者数】 夏 634人、冬 147人、春 175人 合計 956人

○退職者再チャレンジ支援

コミュニティサロン元町において、退職者がその意欲に応じて、円滑に地域における就労・社会参加が可能になるよう昨今話題の年金問題に絡めて「年金セミナー」と称したセミナーを開催しました。

また、シルバー交流サロンの相談コーナー、コミュニティサロン元町に、リーフレットを配置する等して、高齢者の社会参加に関する情報提供を行い、事業を円滑に実施するためコーディネーターを配置しました。

【年金セミナー】 開催回数2回 参加人数67名

【コーディネーター】 1名配置

男女共同参画推進事業

《担当：企画財政課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	19	0	0	0	19
18年度	7	0	0	0	7
19年度	30	0	0	0	30

性別に関わらず、市民誰もがお互いを認め合い、その個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を早期に実現するため、講座などによる啓発事業を実施しています。

【事業の実施状況】

平成19年度は、経営者層を対象に、企業における男女共同参画のあり方、セクシャルハラスメントの知識・対処法など、企業人として男女共同参画の職場環境づくりを形成するための知識の習得、啓発を行うことを目的に、市内の経営者等による団体(青年会議所、商工会議所青年部、商業懇話会IFC)と連携して研修会を開催しました。

- 〔開催日〕平成20年3月25日(火)
 〔場 所〕総合市民会館 第1研修室
 〔講 師〕有限会社 自分塾 代表取締役 松永 悦子
 〔テーマ〕『職場快適コミュニケーション!』
 ～セクハラなんか認めない～
 〔内 容〕職場や企業人との交流の中での体験談
 職業人として家庭と職場との両立の体験談
 セクシャルハラスメントのチェック
 男女雇用機会均等法の改正 など
 〔対 象〕大竹市内で企業活動する経営者、幹部等

らんらんサポーター事業

《担当：生涯学習課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	0	0	0	0	0
18年度	0	0	0	0	0
19年度	0	0	0	0	0

※ボランティアの協力による事業のため、事業費はゼロとなります。

「らんらんサポーター」は、仕事や趣味で得た知識・技術を持った方に登録していただき、ボランティア指導者として活躍していただいているもので、現在13の活動ジャンルに延べ70人(登録者数は62人)が登録しており、学校や公民館で活躍しています。

平成19年度も、引き続き子ども会などさらに多くの団体やグループが行う体験教室や学習活動を支援していくため、学校や公民館だけでなく、放課後子ども教室や「おおたけっ子らんらんカレッジ事業」などの子どものための教室での指導にも活動を広げていき、学びを通じた交流の中から市民参画による「まちづくり」の輪を広げていくことに努めました。

平成19年度から始まった放課後子ども教室のサポートに、今後も積極的に協力が出来るよう、登録者拡大に努めていく必要があります。

【登録状況】

ジャンル	スポーツ	音楽	芸能	パソコン	ものづくり	園芸	写真
登録人数	8	5	4	4	14	3	2
ジャンル	料理	囲碁・将棋	茶道	書道	自然	その他	計
登録人数	7	11	2	1	2	7	70

※詳しい内容については、市ホームページに掲載しています。

大竹まちづくり事業

《担当：企画財政課》

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
17年度	88	0	0	0	88
18年度	42	0	0	0	42
19年度	43	0	0	0	43

市民と協働して行うまちづくりを展開するため、平成18年度に引き続き、大竹市の取り組みに関する満足度・重要度アンケートを実施しました。

○大竹市の取り組みに関する満足度・重要度アンケート

調査地域	大竹市全域
調査内容	①回答者の属性 ②市が取り組む事業(21項目)に対する満足度・重要度 ③大竹市内の移動先と移動手段
調査対象	大竹市在住の満18歳以上の男女 1,000人
抽出方法	大竹市における住民基本台帳法に基づく記載者及び外国人登録法に基づく登録者から年代別に、地区別人口比により無作為抽出
調査方法	調査用紙の発送・回収ともに郵送
調査期間	平成19年8月29日～9月17日
有効回答数	350件(男性153人, 女性191人, 性別不明6人)

※これらの集計結果と分析結果をまとめ報告書を作成し、希望者に配布するとともに、ホームページに掲載しました。

アンケート結果(満足度・重要度の上位・下位の3項目)

満足度

	1位	2位	3位
18年度	国際交流・地域間交流の推進(69.8点)	豊かな人生を創造する生涯学習の推進(69.7点)	手と手をとるあうコミュニティ活動の推進(69.5点)
19年度	豊かな人生を創造する生涯学習の推進(68.7点)	国際交流・地域間交流の推進(68.3点)	手と手をとるあうコミュニティ活動の推進(67.8点)
	19位	20位	21位
18年度	安全で快適な道路網の整備(55.4点)	活気とふれあいのある商業・サービス業の振興(54.7点)	健全な行財政の運営(48.3点)
19年度	利便性の高い公共交通機関の整備(52.8点)	活気とふれあいのある商業・サービス業の振興(52.4点)	健全な行財政の運営(49.2点)

重要度

	1位	2位	3位
18年度	健康を支える医療体制の充実(94.6点)	こころを豊かにする社会福祉の充実(94.2点)	健全な行財政の運営(93.0点)
19年度	健康を支える医療体制の充実(94.8点)	こころを豊かにする社会福祉の充実(94.3点)	健全な行財政の運営(92.3点)
	19位	20位	21位
18年度	利便性と高い公共交通の整備(74.1点)	連携と協調による広域行政の推進(73.2点)	国際交流・地域間交流の推進(71.0点)
19年度	手と手をとるあうコミュニティ活動の推進(75.5点)	連携と協調による広域行政の推進(72.9点)	国際交流・地域間交流の推進(71.9点)